

ハラスメントに関する調査について（概要） 1/2

（1）ハラスメントに関する実態調査（調査期間：R8.2.16～2.27、対象者数：約4,700名 ※全職員から県立病院分を除いた数）

○回答者数 3,840名（回答率83%）

①全庁的なハラスメント被害の実態把握 ※調査の回答数であり、事実認定した数値ではない

【被害の状況】・現在ハラスメントに悩んでいる方は**262名**（調査対象者全体の5.7%、回答者数の6.8%）で、主に**パワーハラスメント**が多い。
・行為者は**管理職**や**課長補佐級**の者が多い。被害に遭われた方との関係性としては**上司**が多い。
・**特別職からのハラスメント**に「悩んでいる」との回答が3名（中村副知事をハラスメントの行為者とするものが2名、行為者の記載のないものが1名）。その他、**自由記述欄**で中村副知事について言及のあるものが4名（いずれも「匿名」で、「人事課による調査を希望しない」と回答）

【被害の対応】・ハラスメントを受けた際、**半数以上の方が何らかの行動を取っている**。
・その行動は「**上司への報告・相談**」が多く、**それらの行動により27%が改善**

【人事課調査】・人事課調査を希望したのは**39名**。調査を希望しない方の理由は「**調査しても改善しない**」が最多

②これまでの福井県庁の組織文化における課題の把握

【過去の対応】・過去「被害を受けたもしくは相談を受けた」方で、**何らかの行動を起こした方は全体の19%**
・その際の行動は**上司や同僚への相談**が多く、**それらの行動により40%が改善**

【職場の状況】・ハラスメントのあった職場は、**職員間のコミュニケーションが不足し、意見が伝え辛い傾向**
・現在は、**職場の雰囲気**が「**改善されている**」「**やや改善している**」との回答が**約6割**

（参考）今回の調査の実施にあたっては、総務省や他県の調査を参考にしています。

総務省「地方公共団体における各種ハラスメントに関する職員アンケート調査」（令和6年度）

- ・回答者数 11,507人（回答率58%） ※388の都道府県・市町村から、一般行政部門に属する一般職の職員20,000人を無作為で抽出
- ・回答結果 過去3年間に、パワハラを受けた経験は全体で15.7%（1,808人）、セクハラを受けた経験は、全体で3.9%（447人）

（2）前知事のセクシュアルハラスメントに関する調査（調査期間、対象者数は（1）と同様）

○回答者数 3, 258名（回答率70%） ※調査の回答数であり、事実認定したものではない

【被害の状況】・前知事からセクシュアルハラスメントを受けていたと回答した方は5名、
「相談を受けた、見た・聞いた」と回答した方は44名
(44名の内容の内訳：相談を受けた 3名、見た・聞いた 34名、内容は回答したくない 7名)
・回答内容は、「報告書同様」や「性的なLINEのやり取り」等であった。

【被害の対応】・「被害を受けた方」のうち4名、「相談を受けた・見た・聞いた」方のうち41名は、被害や相談等に対して「何もしなかった」。
・「何もしなかった」理由として、被害を受けた方は「忘れたかった」、相談を受けた、見た・聞いた方は「知事だったから」が最多

【必要な対策】・「当時、どのようなサポートがあると良かったか」の問いに対し**第三者相談窓口が必要**という回答が最も多く、物理的な引き離しや懲戒処分等も挙げられた。

■（1）についての今後の方針

- ・人事課による調査を希望した事案について、**被害者・加害者の双方に聴き取り**を実施（一部は既に実施中）
- ・特別職に関するハラスメント事案（全て匿名にて回答）について、**詳細な状況把握のため、第三者相談窓口への情報提供を依頼**（4/15迄）
- ・今後、**コンプライアンス委員会**（外部有識者）からの意見も聞きながら、必要な対応策を検討していく。

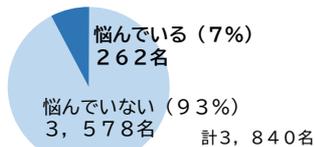
ハラスメントに関する実態調査について（詳細）

（1）全庁的なハラスメント被害の実態把握

被害の状況

- ・現在悩んでいる方は262名で、主にパワハラが多い。
- ・行為者としては管理職以上の方、関係性としては上司が多い

問1 現在、ハラスメントに悩んでいるか 問2 ハラスメントの種類（複数回答可）



パワハラ	220名
セクハラ	25名
マタハラ	6名
その他	52名 (不機嫌ハラスメント等)

問3 ハラスメント行為者の職級（複数回答可） 問4 行為者との関係（複数回答可）

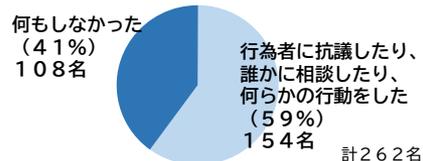
特別職	3名
管理職以上 (特別職を除く)	75名
課長補佐級 (課長補佐、総括主任、主任)	79名
会計年度任用職員	19名
主査級 (企画主査、主査)	17名

職場の上司	167名
職場の同僚	55名
職場の部下	21名
同じ職場ではないが業務上接点あり	20名
回答したくない	22名

これまでの対応

- ・ハラスメントを受けた際、半数以上の方が何らかの行動を取っている。
- ・上司への報告・相談が多く、それらの行動により27%が改善

問5 ハラスメントを受けた時の対応



問6 どのような行動か（複数回答可）

上司への報告・相談	116名
同僚への相談	80名
家族への相談	57名
行為者に直接抗議した	46名
相談窓口などに相談した	27名
回答したくない	6名

問7 行動で何か変化は

計154名

何も変わらなかった	67名
問題は一時的に改善された	39名
問題はむしろ悪化した	20名
問題は完全に解決した	3名
回答したくない	4名
その他	21名

問8 何もしなかった理由（複数回答可）

何をしても解決しないと思った	67名
職務上不利益が生じると思った	54名
職場の人間関係が悪くなると思った	48名
行為がエスカレートすると思った	37名
相談しにくい雰囲気があった	24名
担当部署が公正に扱うか疑問	23名

人事課調査

- ・調査希望39名。希望しない理由は「調査しても改善しない」が最多

問9 人事課による調査を希望するか



※特別職からのハラスメントに悩んでいると回答された3名は、いずれも「調査を希望しない」

希望する (15%)	39名
・パワハラ	35名
・セクハラ	4名

問10 希望しない理由（複数回答可）

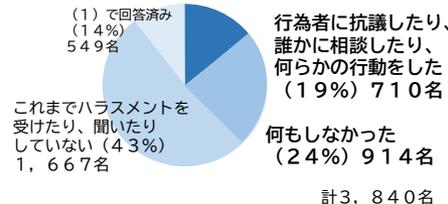
調査しても改善しないと感じる	116名
行為者を刺激し報復されないか心配	110名
自身に不利益が生じないか心配	90名
相談内容を詳しく話すことに負担感あり	65名
調査への協力が煩わしいため	27名
自身のプライバシーを守りたいと感じた	23名

（2）これまでの福井県庁の組織文化における課題の把握

これまでの対応

- ・過去、ハラスメントについて行動を起こした方は、上司への報告・相談が多く、それらの行動により40%が改善

問11 これまでどのように対応したか



問12 どのような行動か（複数回答可）

上司への報告・相談	435名
同僚への相談	312名
家族への相談	169名
行為者に直接抗議した	156名
相談窓口などに相談した	75名
回答したくない	17名

問13 行動で何か変化は

何も変わらなかった	305名
問題は一時的に改善された	219名
問題は完全に解決した	66名
問題はむしろ悪化した	36名
回答したくない	16名
その他	68名
計	710名

問14 何もしなかった理由（複数回答可）

何をしても解決しないと思った	421名
職場の人間関係が悪くなると思った	314名
職務上不利益が生じると思った	265名
幹部が行為者だったから	251名
行為がエスカレートすると思った	193名
ハラスメントを相談しにくい雰囲気	190名
当時はハラスメントという認識無し	162名
相談窓口がどこか分からなかった	150名

職場の雰囲気

- ・ハラスメントのあった職場は、職員間のコミュニケーションが不足
- ・現在は、職場の雰囲気が「改善」「やや改善」が全体の約6割

問15 当時の職場の雰囲気（複数回答可）

悩み、意見を上司に伝えにくい	736名
上司・部下の会話が少ない	542名
時間外勤務が長い	438名
人手が不足している	428名
休暇を取得しづらい	307名
同僚同士の会話が少ない	207名
職員間でのからかいが日常的	199名
他部署や外部との交流が少ない	193名

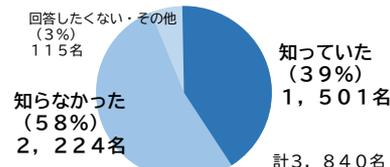
問16 現在の職場との比較

改善されている	707名
やや改善されている	315名
変わらない	227名
やや悪化している	12名
悪化している	12名
相談を受けた立場のため不明	99名
現在の職場で被害がある	64名
回答したくない	64名
その他	124名
計	1,624名

問17 どのようなサポートがあると良かったか（複数回答可）

行為者と被害者の引き離し	793名
第三者相談窓口の設置	623名
行為者の懲戒処分	622名
行為者の更生プログラム実施	409名
相談を受けた後の報告義務化	366名
全職員向けのハラスメント研修	333名

問18 相談窓口を知っていたか



杉本前知事のセクシュアルハラスメントに関する調査について（詳細）

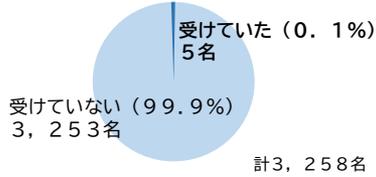
（１）杉本前知事からのセクシュアルハラスメントの有無

被害の状況

- ・ハラスメントを受けていたと回答した方は5名だった。
- ・内容は、報告書に記載のとおりであった。

問1 前知事からのハラスメントの有無

問2 どのような内容だったか



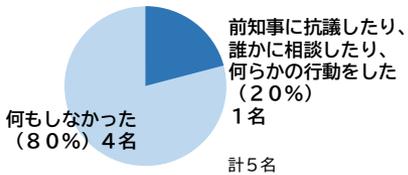
- ・報告書同様
- ・LINEでの性的な発言
- ・テキストメッセージ、電話、身体的接触
- ・回答したくない 等

これまでの対応

- ・ハラスメントを受けた方内、4名の方は「何もしなかった」。
- ・その理由として「ハラスメントを受けた事を忘れたかった」が最多

問3 何か行動を起こしたか

問4 行動で何か変化は



何も変わらなかった 1名

問5 何もしなかった理由（複数回答可）

- ハラスメントを受けた事を忘れたかった 4名
- 知事が行為者だったから 3名
- 職務上不利益が生じると思った 3名
- 被害を受けている事を知られたくなかった 3名
- 何をしても解決にならないと思った 2名

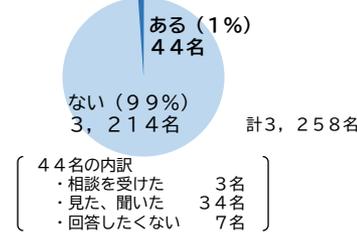
（２）誰かから相談を受けたり、見たり、聞いたりした事があるか

被害の状況

- ・実際に44名の方が、相談を受けたり、見たり、聞いたりしたと回答
- ・被害内容は、報告書に記載された内容が多く挙げられた。

問7 ハラスメントの相談等の有無

問8 どのような内容だったか



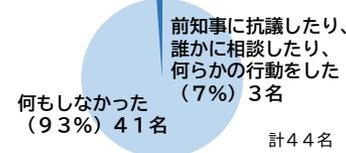
- (相談を受けた)
 - ・職員にLINEをしてくる。下の名前で呼ぶ
- (見た・聞いた)
 - ・性的な内容のLINEを送っていた
 - ・食事に誘われた
 - ・飲み会で手を握られる。連絡先を渡される
 - ・愛人になることを打診された方がいる 等

これまでの対応

- ・相談を受けた方で、実際に何らかの行動を起こしたのは3名だった。
- ・何もしなかった最大の理由として、著しい権利侵害が挙げられている。

問9 何か行動を起こしたか

問10 どのような行動か（複数回答可）



同僚への相談 2名
上司への報告・相談 1名

問11 行動で何が変化は（複数回答可）

問12 何もしなかった理由（複数回答可）

何も変わらなかった 2名
回答したくない 1名

- 知事が行為者だったから 10名
- 何をしても解決しないと思った 6名
- ハラスメント窓口が分からなかった 6名
- 担当部署が公正に取り扱うか疑問 6名
- 被害を誰にも知られたくなかった 5名
- 何かの行動をするほどのことではなかった 5名
- ハラスメントに該当する認識がなかった 4名
- 職務上不利益が生じると思ったから 4名

必要なサポート

- ・第三者相談窓口の設置が必要と複数回答があった。

問6 どのようなサポートがあると良かったか（複数回答可）

- 人事課を経由しない、第三者相談窓口の設置 3名
- 配置替え等、ハラスメントの行為者と被害者の引き離し 2名
- 相談を受けた職場の上長が人事課に必ず報告する仕組み 1名
- その他（権力者に対して何も出来なかったと思う） 1名

必要なサポート

- ・第三者相談窓口の設置が必要という回答が最も多かった。
- ・その他、物理的な引き離しや懲戒処分なども挙げられた。

問13 どのようなサポートがあると良かったか（複数回答可）

- 人事課を経由しない、第三者相談窓口の設置 21名
- 配置替え等、ハラスメントの行為者と被害者の引き離し 17名
- ハラスメント行為者の懲戒処分 17名
- 相談を受けた職場の上長が人事課に報告する仕組み 14名